

単
元
名

「災害に備えよう！～防災対策プロジェクト～

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力，主体性，実行力

単元について

我が国は、地形や土地の成り立ちの特性上、自然災害が起こりやすい地域にある。地震、大雨、台風などによる災害は毎年のように起こっている。東日本大震災以降、学校においても防災教育の取組が進められ、様々な実践が報告されるようになった。本校においても、昨年度から防災教育を総合的な学習の時間に位置付けて取り組み始めているところである。近隣の広島市や福山市では、集中豪雨で土砂災害や洪水の被害を受けている。子ども達が住んでいる熊野町においても過去に洪水や土砂災害の被害があり、いつまたそのような災害に遭遇するかもわからない。災害が起こった時にどうすればよいか自分で考え、判断し、行動できる子どもを育てることは、自らの命を守るために大切なことであると考えている。

本単元では、自分たちが住んでいる熊野町の防災対策や危険箇所、および、人々の災害に対する考えを調べ、現状と課題を知り、地域の人に知ってほしい防災についての情報を発信することを通して自分自身や周りの人の防災意識を高めることをねらいとしている。

児童の実態

(1) 資質・能力に対する実態

本単元で児童につけたい資質・能力に関わる児童アンケートの結果

資質・能力		アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)
②	課題発見・解決力	問題解決のために進んで資料収集・取材をする。	42.4	57.6
③	主体性	自分で課題を立て情報を集め整理し、発表する等に取り組んでいる。	57.6	42.4
④	実行力	考えたり提案したりしたことを、実際に取り組んでいる。	60.6	39.4

「課題発見・解決力」に関する児童アンケート「問題解決のために進んで資料収集・取材をする。」の項目では、肯定的な回答が42.4%であり、半数以上が資料収集や取材に課題を感じている。

「主体性」に関する児童アンケート「自分で課題を立て情報を集め整理し、発表する等に取り組んでいる。」では、肯定的な回答が57.6%であり、情報を集め整理することが課題としてみられる。

「実行力」に関する児童アンケート「考えたり提案したりしたことを、実際に取り組んでいる。」の項目では、肯定的な回答が60.6%であり、考えたり提案したりしたことを実際に取り組む機会を充実させることが必要であることがうかがえる。

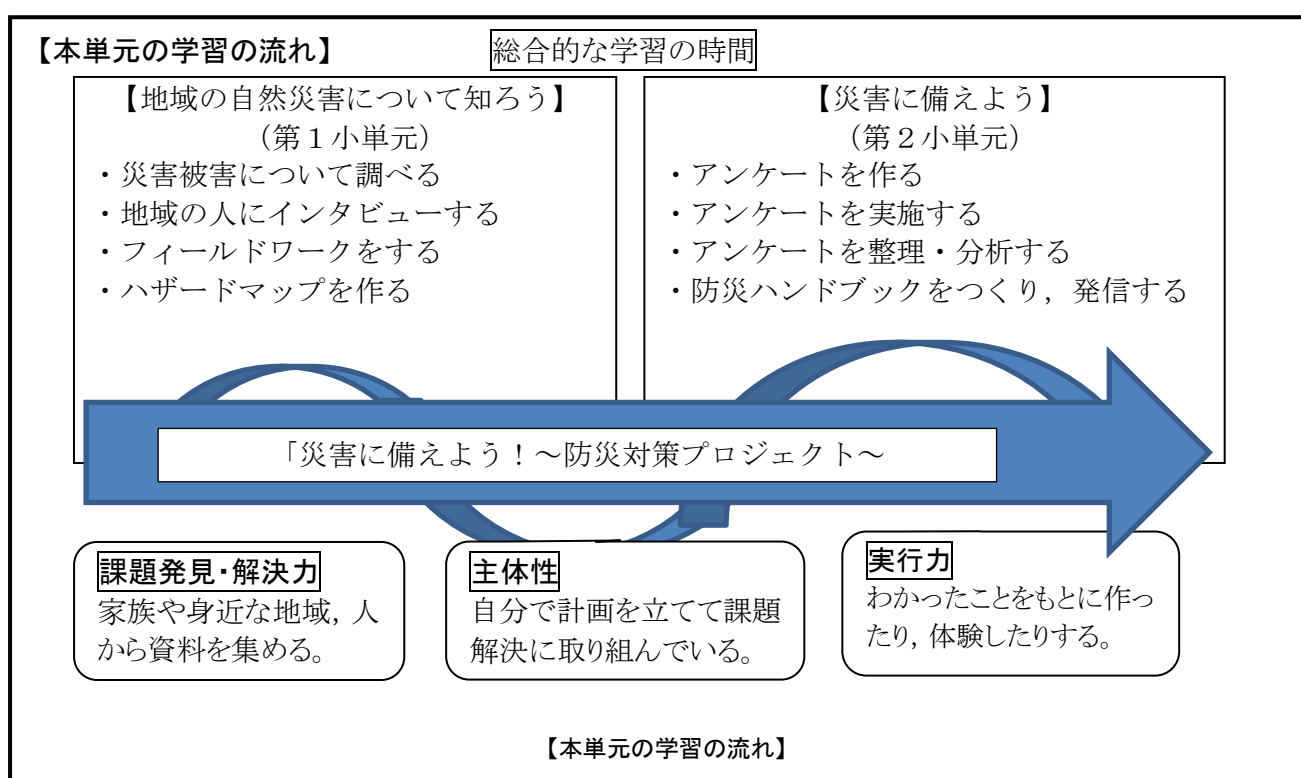
指導観

本単元では、災害について新聞記事やインターネットを活用して調べるだけでなく、実際に現地に行って調べたり、人に聞いて調べたりする機会や時間を十分に確保し、問題解決のために進んで資料収集・取材をさせるようにしたい。また、集めた情報を整理・分析する場面では、思考ツールを効果的に活用し、地域や人々の意識の現状や自分たちの考えを明確にしていくようにする。そうするこ

とで児童に活動の見通しを持たせ、自分で課題を立て情報を集め整理し、発表する等に取り組めるようにしていきたい。

調査計画の場面では、目的に照らしてどのような調査をしていくことがよいのか児童にしっかりと考えさせたい。例えば、データはどう集めたらよいのか、アンケートを実施する場合には、誰にアンケートをするのか、どのような質問が適切なのかといったことを児童の主体性を尊重しながら話し合いを通して決定していくようにする。小単元の最後には「まとめ・表現」としてハザードマップや防災ハンドブックを作成する。調べ、考えたことを成果物に表現することで他者への情報発信をしやすくし、児童の実行力としての情報発信力を高めていきたい。

本単元では、実際に地域に出かけたり、地域で災害を経験した人や町の防災担当者から話を聞いたりする活動を計画的に取り入れる。児童は、身近な自然や人と関わることで自然災害や防災の取組を自分のこととして捉えることができるようになるのではないだろうか。また、体験的な学習を多く取り入れることで児童の実感を伴った理解につなげたい。地域や学校で防災に取り組むよさを実感させることで、地域や学校の一員として災害に備えた安全な町づくり、学校づくりに関わろうとする児童を育てていきたい。



本単元で育成する資質・能力

		内容
②	課題発見・解決力	問題解決のために進んで資料収集・取材をする。
③	主体性	自分で課題を立て情報を集め整理し、発表する等に取り組んでいる。
④	実行力	考えたり提案したりしたことを、実際に取り組んでいる。

指導の計画

児童の思考の流れと学習計画（全 20 時間）		関連する教科及び資質・能力
単元の課題 出会い	「自然災害では多くの命が奪われている。」（1 時間） 「自然災害により生活がおおきくかわる。」 災害から私たちの生活や命を守りたいな。	道徳 （6 月）「土石流の中で救われた命」 ・生命のかけがえのなさを自覚する。
課題発見	近年、日本で起こった自然災害について知る。（1 時間） 毎年のように災害の被害があるな。 熊野町はどうだろう。	理科 （10 月）「大地のつくり」 「変わり続ける大地」 ・災害に対する備えや情報活用の重要性に気づき、自ら行動する態度を養う。
情報収集	熊野町で起こった過去の自然災害を調べる。（4 時間） ・インターネット・近所の人に聞く・統計で表す。 ・ゲストティーチャーから聞く（災害経験者） 身近な場所でも被害にあうことがあるんだな。 実際の災害場所を見たい。	算数 （12 月）「順序よく整理して調べよう」 ・ある観点に着目したり、図や表などにき表したりする。
整理・分析	危険箇所を予想する。（1 時間） 地域に出かけて予想を確認する。 低いところは危ないな。 ここで崖崩れが起きたら危険だな。	
まとめ・表現	オリジナルハザードマップを作る。（3 時間） ・ゲストティーチャーから学ぶ（役場防災担当者） 災害から私たちの生活や命を守りたいな。	社会 （通年）「地図を見る学習」 ・地図に親しみ、地図を効果的に活用しようとする。
課題発見	「災害に備えてなにかできることはないかな。」 「避難するときにはどんなものが必要かな。」 防災グッズを実際に確認したり、試したりする。（1 時間） 自分たちの周りの人は、災害についてどのくらい考えているのだろう。	
情報収集 （2 / 2 本時）	自分たちの周りの人が防災についてどのような意識をもっているのか調査する。調査する内容を決めてアンケートをする。（2 時間） どんなことを聞けばいいかな。 周りの人は災害に備えてどんな準備をしているかな。	
整理・分析	結果をもとに身近な人に知ってほしいことや、どんなことが災害時に役に立つか考える。（2 時間） 災害についてあまり考えていないんだな。 災害に備えて知っておいてほしいことがあるぞ。	算数 （1 月）「資料の特徴を調べよう」 ・資料の特徴について統計的に考察できる。
まとめ・表現	防災ハンドブックを作る。（3 時間） 災害についてわかりやすくまとめたいな。 いざというときに役に立つものにしたいな。 周りの人の防災意識が高まればいいな。 災害から周りの人の命や生活を守っていききたいな。	国語 （9 月）「資料を生かして呼びかけよう」 ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く。
単元のゴール	防災ハンドブックを配布し、下学年の児童や地域の人に PR する。（2 時間）	

本時の学習

- (1) 本時の目標
- 災害時に役立つハンドブックにするためにどのような情報を集めればいいのか考え、アンケートを作ることができる。
- (2) 本時の評価規準
- 1回目のアンケートでわかったことをもとに2回目のアンケート項目を作っている。
- (3) 本時の学習の展開

学習活動(・児童の反応)	指導上の留意事項	評価規準(評価方法)
1. 前時の学習を振り返る。 ・周りの人の防災意識の情報を班で整理したことを想起させる。 ・アンケートを整理・分析した内容を班で確認する。 2. めあてを確認する。	・どんなハンドブックにしたいか発言させる。	
㊦ もっと役立つハンドブックにするためのアンケートを作ることができる		
3. 見通しをもつ。 ・情報を整理・分析したものを発表する。 ・調査結果を整理してわかったことやそこから考えたことを話し合う。 ・ハンドブックに必要な情報はこれで十分か話し合い足りない情報を集めるためには誰にどのようなことを聞けばよいか考える。 →付箋紙にアイデアを書き出す。 4. 協働学習をする。 ・個人で考えたことを班で交流し、よりよい質問項目を考える。 ・これまでの調査結果を根拠にアンケートの内容を決める。 ・考えたアンケート項目を発表する。 5. 学習のまとめをする。 ・各班が考えたアンケート内容から気が付いたことを発表する。	 ・周りの人に伝えたいことは何かを考えさせる。 ・自助と共助の視点で考えさせる。  ・決めた根拠を明確にさせる。 ・災害時に役立つハンドブックにするために必要なことに気付けるようにする。	・1回目のアンケートでわかったことをもとに2回目のアンケート項目を作っている。(アンケート用紙)
㊦ 役立つハンドブックにするためには〇〇な情報が必要である。		
6. ふり返しを書く。 ㊦ 振り返りの例 ・1回目のアンケート結果から次のアンケート内容を考えることができた。 ・アンケートで必要な情報を集めていきたい。 ・周りの人の意識をしっかりと調べて役に立つハンドブックを作りたい。		

板書計画

㊦ もっと役立つハンドブックにするためのアンケートを作ることができる。

1 班

2 班

3 班

4 班

どんなハンドブックにしたいか

- ・ _____
- ・ _____

5 班

6 班

7 班

8 班

前回のアンケート調査でわかったこと

- ・ _____
- ・ _____

アンケート作りの方法

- 1 _____
- 2 _____
- 3 _____
- 4 _____

㊧ 役立つハンドブックにするためには〇〇な情報が必要である。

㊨ ・ 周りの人の意識をしっかりと調べて役に立つハンドブックを作りたい。
・ 必要な情報を集めていきたい。